

ITC



II

VOLUME 22
JANUARY/2004

JAPAN REGION

目 次

Table of Contents

日本リージョン会長新春メッセージ	The President's Message	1
「国際役員としての生活」— ITCディヴィジョンIV副会長 泉 和子 “Life as International Officer”		2
元日本リージョン会長故江藤万里子様追悼.....	In Memoriam	3
CLOとは何でしょう?!	What is a CLO?!	4
広報委員会活動報告	Public Relations Committee Report	6
第22回 日本リージョン年次大会ご案内	The 22nd Japan Region Annual Conference	8
大会準備委員長挨拶	Message from Coordinator	8
大会プログラム予定表	Programs at a Glance	9
大会申込要領	Registration	10
特別プログラムのご案内	Special Programs	11
教育セッション一覧表	Training Sessions	12
講師紹介・教育セッション申込要領	Lecturers • Application for Training Sessions	14
観光案内	Sightseeing in Osaka	16
登録・食事・宿泊申込書	Registration & Reservation Forms	17
教育セッション申込券	Training Session Ticket	19
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	21
議事法解説	Lecture on Parliamentary Procedures	22
ITC Plaza：「ITC川柳」	ITC Plaza: “ITC <i>Senryu</i> ”	23
名簿の変更・訂正など	Roster Update	24
ITC日本リージョン声明文・ITC宣誓 ..	Mission Statement of Japan Region • ITC Pledge	裏表紙

年を重ねる毎に値打ちが出るのは、ワイン、アンティーク、そしてあなた。

Three things get more valuable and more beautiful with age: wine, antiques and you.

— 誕生日に甥より —

(「あなたに贈る英語の言葉」より)



会 長 挨拶



I T C日本リージョン第22代会長 山 崎 眞 知

新年おめでとうございます。

皆様、お元気に新しい年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。
私共リージョン役員一同、心新たにリージョン運営に携わる決意で新年を迎えました。

去年は、短期目標に掲げた社会との関わりについて、会員の皆様のご協力により、ライオンズクラブとの交流、短期大学での授業という思いがけない形が実現でき、やりがいを実感する事ができました。特に短期大学の授業におきましては、I T C会員の底力を実感致しました。現代の学生を相手に巧みなリードで授業内容の興味を盛り上げることに成功いたしました。今までI T Cで培ってきたことが、社会に立派に通用することに自信を持って、お一人でも多くの会員の皆様に各方面に進出して戴きたいと願っております。こうした試みは今回にとどまらず次に繋げていきたいと考えております。またリージョンの組織につきましても、組織運営研究委員会からの提案を検討し、よりよいリージョンとすべく努力したいと存じております。

クラブの充実に関しましては、まずそのクラブのメンバー一人一人が議事の進め方を修得し、プログラムに積極的に参加し、向上することにより、魅力のあるクラブが確立され、さらには会員の増員にも繋がるのではないのでしょうか。要請があればリージョンとして出来る限りの協力をさせていただきます。会員の皆様とご一緒に考えてまいりましょう。

7月にリージョン大会を控え、さらなるリージョンへの暖かいご声援とご協力をお願い申し上げます。

昨年11月10日に元リージョン会長江藤万里子様のご逝去されました。本誌にも追悼の言葉を戴いておりますが、2度のリージョン会長を努めていただいたことはもとより、日本リージョンへの功績は多大なものでありました。改めましてこの場をお借りして、そのお力添えに心より御礼を申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

The President's Message

A Happy New Year!

I would like to extend New Year greetings to you all, wishing you every happiness.

We, the Region Board members, greeted the New Year by being determined to make fresh efforts at managing the Region.

Last year, we were able to get unexpectedly good results concerning one of the short-term objectives, "Reasonable and Good Relationships with Society". An exchange with "Kyoto Lions Club" and lectures at a junior college were achieved through the kind offices of the members. I realized that these were really rewarding attempts. Especially, the lectures at the junior college made me realize how energetic ITC members are. They succeeded in leading today's students and livening up the students' interest in the contents of the lecture. I hope as many members as possible will participate with confidence in various social affairs, because the knowledge and the experiences we have cultivated for a long time are very well accepted in society. We would like to continue these attempts and link them to the next opportunities. Concerning the organization of the Region, we will consider the suggestion by the Committee for the Study of Organization Management, and do our best in order to make the Region better.

Concerning the aim of "Improvement in Quality of Clubs", I think, first of all, each and every member should look for ways to improve meeting procedure and the contents of programs. Such improvements will lead to the establishment of attractive clubs and increase of membership. If you have any requests, we will do everything we can. Let's think together.

Japan Region Annual Conference will be held in July. I hope for your warm encouragement and cooperation.

On November 11, 2003, Ms Mariko Eto, former Region President, passed away. Memorial words are in this magazine. She not only served twice as Region President but also rendered many other distinguished services to Japan Region. Again, I express my gratitude for her help, and pray her soul rests in peace.

国際役員としての生活 南アフリカの風が運んだ幸運

I T C副会長 ディヴィジョンIV 泉 和子

南アフリカ共和国という、まだ見たこともない国へ、I T C世界大会に出席のため旅をしたのは昨年7月のことでした。ここ数年続けて世界大会へは出席していますが、私にとっていつもと違う意味を持った今回の大会参加は、不安と緊張の連続で、自分で自分を支えるだけが精一杯でした。経験したこともない対抗馬の有るI T C国際役員選挙に立候補し、日本の皆様の大きな声援に支えられて無事当選し、厳かな就任式で、生まれて初めて足の震える感動を経験しました。そして矢継ぎ早に右も左も解らない国際役員会に出席し、アフリカの果てでとうとうホームシックにかかったという私でしたが、あれから早や5ヶ月が経過しました。

I T Cに20数年間在籍し、まさか国際役員への道を歩むとは夢にも思わなかった私ですが、技量の許す限りその職務を果たさなければならない日常は、先ずコンピューターに向かうことから始まります。E-mailは世界中に散らばる役員6名の命綱のようなコミュニケーション技術です。

他のディビジョン担当者よりはリージョンの数が少ないのですが、オーストラリア、日本、ニュージーランドと大きな3つのリージョンを統轄する私の責任は大きく、又初めて接するバンコック無所属クラブの扱いにも、まだ戸惑いを感じます。

担当ディビジョンの統轄もさることながら、国際役員の一員としての職務を果たすことは、私にとって並大抵のことではありません。今までに見たことも聞いたこともない難しい内容の諸問題や、英語を母国語としない困難が私の目の前に大きく立ちはだかりますが、そんな時「和子、頑張りなさい!」「前へ進むのよ!」「会員のことを考えて!」と励まして下さるウイルナ ウイルキンソン国際会長が私の面前で待ち構えていて下さいます。そしてえっちらおっちらと無い知恵を絞ってでも出した私の考えが、少しでも役員会に貢献すると、経験のある他の役員は「良くやった!」「和子、Congratulations!」と後ろから声援を送って下さるまでになりました。

去る11月末に開催された第二回国際役員会は、ダーバンで開催された一回目の出席会議と違って、コンピューターと電話を使ったCyber会議に切り替わりました。こんなはずではなかったとびっくり仰天した私は、会議中は会長の側に同席させて欲しいと再三要求しました。私は、電話での英語の会議に全く自信が無く、内容が解らないのではないかと心配だったからです。しかし会長は「和子、良く考えなさい。役員は少しでも経費を節約して、会員へ教育とサービスを提供しなければならないのです。いまや役員の旅費を費やすことは許されません。そして社会に遅れをとることなく組織は前進しなければならないのです」とCyber会議への協力を強調されました。この会長の自信に満ちた、挑戦的な考え方は私の気持ちを動かし、会長の毅然とした態度にそれ

以上反発する術を持たず、勇気を持ってCyber会議に臨みました。各役員はそれぞれの国から、朝早く、夜遅く会議に参加しました。時間を掛けた、綿密な、用意周到な準備期間を経て開催されたCyber会議が見事に成功を収めたことは、I T Cにとっても画期的なことであり、又このチャンスに役員として在籍していたことに、役得という嬉しい幸運を感じました。これから1年半も続く国際役員生活の中で、I T Cへの意義有る貢献が出来るよう誠心誠意務めてゆく所存です。

(写真: Cyber会議に臨んで)





日本リージョン第14期及び第17期会長をお努めになられました江藤万里子様が2003年11月10日逝去されました。故人の功績を偲び、心から御冥福をお祈りいたします。

故江藤万里子元リージョン会長（第14期、第17期）追悼文

江藤さんどうして…

関西クラブ 三宅 梢

思いがけなく故江藤万里子様のお追悼文を書く事になりました。28年余りITCを通じての御交誼を振り返ります時、先ず彼女の豊かな御体格とおやさしい御容貌が目には浮び「どうして…」と今も話し掛けたくになります。彼女も私も同時期に入院生活を送り、7月の親睦会でお目にかかった時少しお痩せになったかな？と思いつつお互いに「頑張りましょうね」と労わり合ったものでした。思い返せば1976年彼女が第2期会長の時私は入会しましたが、その後間もなく彼女は御主人様を亡くされました。妻として母として人生において最も悲しいこの時期、関西クラブは存続の危機に直面しておりました。阪神クラブの御援助を戴き、武内さんと共に悲しみの最中の会長を支えて立派に復活する事が出来たのです。当時女性が教養を身につけ社会参加を希うには、ITCは正にピッタリの会でした。彼女はITCをこよなく愛し、自己啓発の為あらゆる部門に亘り学び、実践して会員をマニュアルに添って正しく導かれました。リージョン会長を二度も勤めその功績は永く残る事でしょう。又御家庭においても百歳のお姑様を思い「今晚は母と寝ますのよ、母は私の仕事の予定を覚えていて『今日は〇〇でしょう』と言いますのよ」と嬉しそうに話されるお嫁様でもありました。生来の御性格に厚い信仰心が重なって逆境にもめげずにこやかで、いつも横に居て頂きたい存在でした。早い別れは悲しいけれど、心より御冥福をお祈り申し上げます。お安らかに。

江藤さん！！お安らかに…

阪神クラブ 菊池 悦子

江藤さんが逝去されてから、丁度一ヶ月経ちました。追悼文をとの事で御引受けしたものの終日考えました。ふと一通の手紙を思い出しました。江藤さんは、リージョン会長として英国での世界大会の歴代会長を称える晩餐会でトランジショナルソートを述べられることになり、少しお手伝いさせていただきましたが、恐らく何度も何度も練習されたことでしょうか、当日は日英両語で立派に堂々と読み、拍手喝采を受け祝福を浴び、「原稿が欲しい」との申し出もあったという嬉しい感謝のお手紙でした。ITCライフにおいてのハイライトでいられたと思います。彼女は1967年に阪神クラブ準会員に1969年に正会員になられました。当時外国人を含め、正準会員併せて50名位在籍しておりました。全くトースト¹の黎明期で、その目的も活動も分からず、私共は一生懸命勉強しました。やがて日本語だけのクラブを作りたいという機運が生じ、阪神クラブから10名移籍、新たに関西クラブが誕生し、揺れに揺れた時期がありましたが、常に中心の一人として鷹揚に構えていられました。やがてカウンスルの分割、初代の会長となられ、リージョン役員を経て着実に会長への階段をのぼられ、リーダーシップを発揮されました。真面目で几帳面、健康的でITC大好きな方でした。常にご両親を範とされ、お嫁さんの手本であり、殊にお料理が上手で感心させられました。

余りにも思いがけない急逝に驚きつつ拙い和歌を手向けさせていただきます。

ITC 共に学びし数々の 思い溢れて貴影仰げり
苦しみも痛みも去りて安らかに 花に埋もれて憩い給わん
何事も余り苦しにせぬ君なりき 万里の道を明るく生けり

¹ ITCは当時インターナショナル・トーストミス・クラブ、略してトーストと呼んでいた。

What is a CLO?!

Anne Issott, CLO of ITC Japan Region

Now that email is so common around the world, ITC has seized the opportunity that email presents to both cut the cost of communication by sending information to members by email, and to increase the amount of information that is sent. This will ensure that members have up-to-date information as speedily as possible, and are fully informed on all ITC issues.

In the past, each Club received a printed "All Club Mailing" from the ITC Board twice a year. From this term onwards, the "All Club Mailing" has been replaced by an email "From the Boardroom" (FTB for short). The FTB will be sent out from the ITC Board by email at the beginning of each month. It is unrealistic for the ITC Board to be able to send this directly to every member, so the solution has been to appoint a CLO (Communication Liaison Officer) in each Region.

The job of the CLO is to ensure that the FTB is sent on to the Presidents of each Club and Council (or to their E-mail representatives) as swiftly as possible. Here in Japan Region, a slight delay is caused by the need to translate the FTB into Japanese, but the Translation Section is making every effort to provide a translation within a few days. We are fortunate to have such skilled and dedicated members.

The FTB is one of the most important documents we will receive from the ITC level. In it you will find details of current ITC Board plans and actions, information on new training programs, ideas for improving and promoting ITC, etc. It is an encouraging and inspirational publication that can help us improve our Clubs.

Once the Presidents of Clubs receive the FTB, I request them to forward it to all members of their Club who have an email address. I would also urge them to ensure that they announce the contents of the FTB at the next Club meeting, and have printed versions of the FTB available (current and past) at each meeting for members without email to be able to read the entire FTB for themselves. And I also urge members to take the time to read the FTB each month, and discuss it with other members.

I will from time to time make random calls to members to make sure they have received the FTB. However, don't wait for me to call! If by the middle of a month you have not seen a copy of the latest FTB, do call your Club President and tell him or her. Your President can call me or the Japan Region Office. We will be happy to re-send the missing edition!

Let's rise to the challenge and help the Board improve ITC!

Joint Conference of Div. I and Div. II

—The First-ever Attempt in the History of ITC—

Date : July 9-12, 2004 Place : Indianapolis, USA

Dates clash with the Japan Region Conference which is to be held July 8-10.
See the details on the ITC Website or ask the Region International Relations Committee.

CLO とは何でしょう?!

I T C日本リージョンCLO アン・イソット

今や E-mail が世界中に広く普及しているので、I T Cは会員に E-mail で情報を送る事で通信経費を削減し、又同時に送る情報量を増やせるという E-mail ならではの好機を捉えることにしました。これによって会員は確実に最新の情報を可能な限り速やかに手に入れ I T Cの問題点すべてを十分に知る事が出来るようになります。

これまでは、各クラブは I T C国際役員会から印刷した「オールクラブメーリング」を年二回受け取っていました。今期からは E-mail による「From the Boardroom (FTB)」(国際役員会から)が「オールクラブメーリング」に代わることになりました。FTB は各月初めに I T C国際役員会から E-mail で発送されます。I T C国際役員会がこれを直接全会員に送るとするのは実際問題として不可能です。その解決法として各リージョンに CLO-Communication (通信) Liaison (連絡) Officer (役員) を任命する事になりました。

CLO の仕事は各クラブとカウンスルの会長 (或いは E-mail 係) に出来るだけ迅速に FTB が確実に送り届けられるようにする事です。日本リージョンの場合、FTB を日本語に翻訳しなければならないのでわずかに遅れる事になりますが、翻訳部は数日間で翻訳するためあらゆる努力を傾けております。幸いにしてそれを可能にする非常に優れた熱心な会員に恵まれております。

FTB は I T C国際レベルから受け取る最重要文書の一つです。ここでは、I T C国際役員会の今現在の計画と活動、新しいトレーニングプログラムに関する情報、I T Cを改善し推進する計画などを詳細にわたってご覧になれます。この出版物は私たちに励まし奮い立たせクラブを改善する助けになり得るものです。

クラブ会長は FTB を受け取ったらすぐそれを自分のクラブの E-mail アドレスを持っている全会員に転送していただきますようお願い致します。更に会長は是非とも次回クラブ例会で FTB の内容を伝え、E-mail の無い会員も手にとって FTB を全部自分で読めるように会合の度に FTB 印刷版 (最新版及び過去のもの) を必ず用意して頂くようお願い致します。そして会員も又毎月時間をとって FTB を読み他の会員と話し合ってください。

E-mail は時には当てにならない場合もありうるので、会員が FTB を受け取ったことを確認するため私から時々任意に電話をかけさせていただきます。でも私からの電話をお待ちになる事はありません! もし月半ばになっても最新の FTB が届いていない場合は、どうかクラブ会長に電話して、会長から私或いは日本リージョン事務局に電話するよう頼んでください。喜んで行方不明版を再送いたします。

この挑戦にひるまずたちあがり国際役員会を助けて I T Cを良くしていきましょう!

ディビジョン合同会議開催のお知らせ

ディビジョン I と II は合同でディビジョン会議を開催します。

期日: 2004年7月9日~12日 場所: アメリカ、インディアナポリス

7月8日~10日まで開催される日本リージョン大会と重なってしまいましたが、I T Cの初の試みであるディビジョン会議の開催をお知らせします。

詳しくは、I T Cホームページをご覧下さるか、リージョン国際交流委員会にお訪ね下さい。

短期大学に於いて I T C 会員がコミュニケーション学の講義

白鳳女子短期大学（奈良県王寺町）から、総合人間学科の授業の一環として、就職活動や面接試験に役立つ企画の要望があり、2回の講座を受け持ちました。



第1回目は2003年11月20日（木）10:40～12:00までの80分間、階段教室に集まった学生30名を対象に、まずはコミュニケーションとは何か、人間が生きていく上でそれは何故必要なのか、そしてコミュニケーションをうまく図るためにはどのようにすればよいのかを解り易く説明しました。

実践編では、テレビコマーシャルの出来るまでの裏話を明かし、人を惹きつけるコミュニケーションとはどのようなものか、また、短い言葉で人にどれだけの情報が伝えられるかを話し、15秒間と30秒間の会員自作のコマーシャルを実際に披露したところ、学生の眼は次第に輝きを増し、授業は興にのってきました。

次は効果的な自己紹介の仕方です。必要不可欠な項目を説明した後、会員3人が2～3分間の自己紹介を行い、学生に感想を述べてもらいました。3人の印象を、若い感性で適格に捉えているのには驚かされました。次回の授業で自己紹介をしてもらうことを宿題にして1回目を終了しました。

第2回目は2003年12月4日(木)10:40～12:00の80分間です。先ず「人前で話す時、あがらない方法」の講義を行い、あがる原因は何か、それに対処するにはどのようなことに気をつければよいかを説明しました。次いでマイクの使い方も実際に行ってみて、一番よく声の通る持ち方を伝えました。さあ、今度は2分間で自己紹介をする学生の実践編です。9人の学生が「自分が今思っていること」「大学生活について」「将来の仕事と夢」についてスピーチを披露し、一人のスピーチが終わる毎に、会員による1分間のコメント（いいところは褒め、改善した方がよいと思われる点は適切にアドバイス）を加えました。最初は指名されてしぶしぶ前に行くという状況でしたが、後になると積極的に手を挙げて発表するという光景に変わっていきました。また、9人のスピーカーのタイム報告も行いました。次は会員3人と学生5人が対面しての面接の練習です。



「最近見たニュースの中で一番心に残っているものは何か。」「ボランティア活動に関心があるか。」「自分を一番PRできるポイントは何か」「電車の中で化粧している若い女性がいるが、あなたはどうか。」などを質問して、学生が即答するという訓練を行いました。

★最後に同大学の坂上博宣助教授の言葉

「今日欠席している人は大損をしています。反対に今日出席している君たちはいいものをたくさん得ることができました。就職活動に大いに生かしてください。」
これで2回の授業は終了しました。



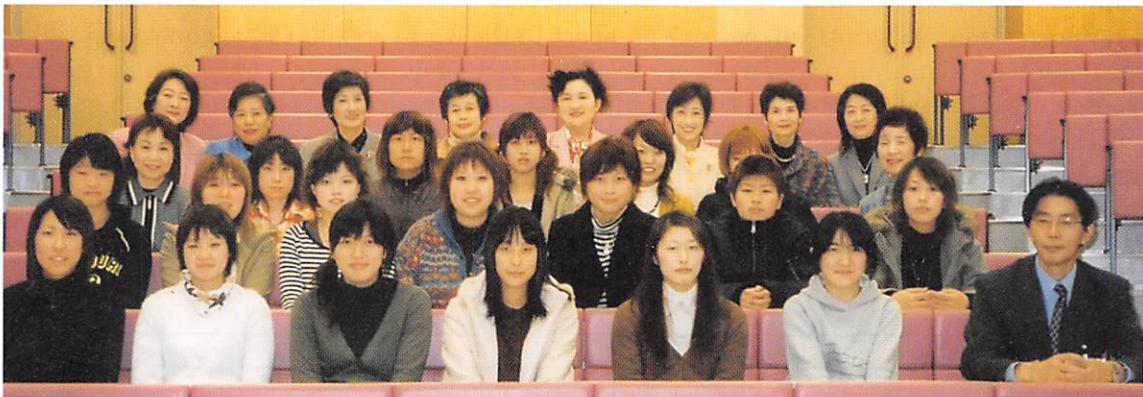
☆学生の感想



- ・人前で話すのは苦手だけれど、社会に出てからは求められることなので、この授業を受けてからは意識して人前で自分の意見を言えるようになってしまった。
- ・アドバイスをを受けて自分の欠点に気付いた。
- ・面接の練習をもっとしてほしかった。
- ・社会に出てから役に立つことをたくさん指導していただいた。
今後もこのような授業をしてほしい。

☆担当した会員の感想

- ・短大で講義をするのは初めての経験なので、I T Cで学んでいることをどれだけ受け入れてもらえるか心配だったが、携帯メールを打ったり、居眠りをする人はなく、眼を輝かせて聞いてくれたことに感激した。
- ・学生が自分の夢に向かって努力している姿に感動した。社会との接点ができ、若い世代とコミュニケーションがとれたことが嬉しい。
- ・世の中が不況ということもあるのか、就職に真剣に取り組んでいる姿に接し、嬉しく思った。
- ・I T Cでのオリエンテーションではなく、短期大学という現場で実地訓練できたことがとても良かった。
- ・協力者、会長、広報委員会の10人が、色々の意見を出し合い、良いチームワークのもと準備をし、自分たちが学んできたI T Cのことを少しでも学生たちに教えたいという気持ちが通じたことが、大きな収穫だと思った。



参加協力者：立野知津子（阪神）
大野三恵子（京都）

津田 由貴（西宮）
中野 知子（奈良）

遠藤美与子（堺東）

日本リージョン 第22期 広報委員会

第22回 日本リージョン年次大会ご案内



大会テーマ：「緑なす大地」

開催日：2004年7月8日(木)・9日(金)・10日(土)

場 所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)



大会準備委員長 坂口正子

第22回日本リージョン年次大会は関西の文化・経済の中心地として躍動感溢れる大阪で開催されます。近代的で合理的な大会を目指し、準備委員会は皆様を出来る限り快適な環境でお迎えすることができるよう準備を進めております。今大会の新しいアイデアとして、登録者の情報が入力された各自の「大会パスカード」(写真右上)を受付でお渡しいたします。このカードは前もって申し込まれたワークショップ、昼食、晩餐会、観光等に参加出来るパスポートとなります。従来のワークショップ券や食事券の発行はありませんが、「大会パスカード」の呈示で登録した各部門の参加はフリーパスです。

また簡素化を図ることで登録費を安く設定することが出来ましたので、都合で1日しか出席できない方やワークショップには参加したいとお考えの方も、年に1度の再会の喜びと新しい出会いのある年次大会に是非お出かけくださいませ。地球が平和で緑の草木で覆われることを願い大会テーマとなりました「緑なす大地」の下で沢山の思い出をお持ち帰りいただけるよう、準備委員会一同は皆様を心から歓迎いたします。大阪で開催される第22回日本リージョン年次大会に、ふるってご参加いただきますようお願いしております。

Invitation to the 22nd Japan Region Annual Conference

Conference Theme: "A Peaceful Verdant Earth"

Date: July 8, 9, and 10, 2004

Place: Osaka International Convention Center (Grand Cube)

Coordinator: Masako Sakaguchi

The 22nd Japan Region Annual Conference will be held in the dynamic city of Osaka, which is the center of culture and economy in the Kansai area. All the preparation committee members are working toward welcoming attendees and making them feel as comfortable as possible. We have a new idea for this Conference: at the desk you will receive a Conference Pass Card (pictured above) which has your personal information. This card will be your passport to the workshop, lunch, banquet, and sightseeing for which you have signed up. No tickets are required; just show your Pass Card and participate.

We could lower the registration fee by simplifying the system. Even if you can come just one day or to the workshop only, please come to renew past friendships and to meet new friends at this once-a-year occasion. At the Conference, under the theme "A Peaceful Verdant Earth", we will be wishing the earth to be green and full of peace. The preparation committee sincerely hope you will make wonderful memories. We look forward to seeing many of you at the 22nd Japan Region Annual Conference in Osaka.

ITC公式訪問者
ディビジョンIV副会長 泉 和子
ITC Official Visitor
Division IV Vice President Kazuko Izumi S.C.

第22期 日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 22nd Annual Conference Program Plan

大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル
OSAKA International Convention Center・RIHGA ROYAL HOTEL

● 7月8日 (木) July 8 (Thurs)

11:30~12:00	受 付	Registration
12:00~12:45	昼 食	Lunch
12:45~14:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
14:30~15:30	成果向上の為のプログラム 1	Performance Enhancement Program 1

● 7月9日 (金) July 9 (Fri)

08:30~09:45	登録受付	Registration
09:00~09:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場・開会式	Opening Ceremony
10:40	ビジネスセッション	Business & News from ITC
12:00~13:20	昼食・選挙	Lunch & Election
13:20~14:40	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
14:40	選挙結果発表	Election Report
15:00~16:30	教育セッション (6部門)	Training Sessions (6 Parts)
17:30~18:00	晩 餐 会	Banquet
18:00	受 付	Registration
18:20~19:50	開 会	Opening
19:50~20:30	晩 餐	Banquet
20:30~21:00	インストールセッション	Installation
21:00	エンターテインメント	Entertainment
	終 了	Adjournment

7月10日 (土) July 10 (Sat)

08:30~09:00	登録受付	Registration
09:00~10:00	ビジネスセッション	Business Session
10:05~10:40	特別プログラム ① ディビジョンIV副会長に聞く	Special Program ① Interview with Division IV Vice President
10:40~12:10	特別プログラム ② 福岡政行氏の講演	Special Program ② Lecture by Mr. Masayuki Fukuoka
12:10~13:30	昼 食	Lunch
13:30~15:30	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30~15:50	表 彰	Awards
15:50~16:15	報告・案内	Reports
16:15	閉 会	Adjournment
16:30~18:30	成果向上の為のプログラム 2	Performance Enhancement Program 2

時間・内容に変更が生じる場合もあります。
変更のある場合は、会報第3号でお知らせします。

リージョン大会申込要領

◎ 共通要項

1. 会員は、17頁の緑色の大会登録、ホテル宿泊申込書に必要事項を記入して2004年4月30日（金）迄にクラブ会計に提出してください。
リージョン役員、リージョン常任委員会委員長、リージョン特別委員会委員長、リージョン元会長、各レベル会長、リージョン派遣員、派遣員代理の方は役職名を記入してください。
キャンセルや追加等の変更は2004年6月10日（木）迄にクラブ会計に申し出てください。
重複会員はリージョン会費を納めているクラブから登録してください。
2. クラブ会計は、E-メール連絡係りを通じて「リージョン大会申し込み要領説明」が登録委員会から送信されますので、その要領に従い2004年4月30日（金）迄に申込書を登録委員会に送信してください。キャンセルや追加等の変更締切日は2004年6月10日（木）です。
登録申込金は必ず申込書提出後の6月15日（火）～20日（金）の間に送金してください。
なお、送金された登録費は返金できません。

◎ 登録及び食事申込（クラブ会計へ提出）

1. 晚餐会又は観光のみ出席の方も、登録費が必要ですがゲストは不要です。
2. 欠席の方（賜暇会員を含む）は、協力金をお願いします。
3. 申込書と共に合計金額を、クラブ会計へ提出してください。
4. 申込締切り以後の変更は、クラブ会計にご連絡ください。

◎ ホテル宿泊申込（クラブ会計へ提出）

リーガロイヤルホテル 〒530-0005大阪市北区中之島5-3-68
TEL：06-6448-1121〈代〉 FAX：06-6448-4414
ホームページ：http://www.rihga.co.jp/osaka/top.html

部屋タイプ		料金（一人分）	備考
S	シングルルーム	11,500円	朝食・税サービス料込
T1	ツインルーム	17,000円（1人使用）	
T2	ツインルーム	10,500円（2人使用）	
T3	ツインルーム	9,500円（3人使用）	

1. ホテル名、宿泊費は上記の通りです。
2. 2004年4月15日（月）に申込みを終えた後、6月10日（木）迄の変更（キャンセル、追加等）はクラブ会計へそれ以降の変更は直接ホテルに連絡してください。
3. キャンセル料は、当日100% 前日80% 前々日50%となります。
4. お支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
5. チェックインは午後3時、チェックアウトは正午です。
6. 部屋タイプは上記掲載の左側のアルファベットをご記入ください。
7. シングルの部屋を多く用意しておりますが、ご希望に添えない場合もあります。ご了承ください。

第22回 リージョン大会特別プログラムのご案内

プログラム・教育委員長 大藪京子



この大会が会員の叡智と絆の集いであること、今後の改革に向けて、社会に即した機能性を充実させ、会長テーマ「輝ける未来をめざして」に沿ったITCにならんことを祈りたいと思います。

2004年7月10日（土） 10：40～12：10

政治学者の講演

「政治が動く、政治が変わる、時代の潮目を読む」

福岡政行氏



混迷する日本経済と揺れ動く政治情勢、社会問題に取り組み活躍しておられる政治学者、福岡政行氏に「手に取るように政治のことがわかる」お話を聴かせて頂く講演会を企画いたしました。

22期目のリージョンに与えられた課題は多く、ITCの存在意識を問われる大切な年でもあり継承から創造へ、過去の歴史を踏まえた上での柔軟な対応が必要と考えます。「時代の潮目を読む」という講演から、次へのステップとなるものが学べることを期待しております。

<プロフィール>東京都葛飾区に生まれ、早稲田大学政治経済学部、大学院政治学研究科を卒業、博士課程終了。現在は立命館大学客員教授、白鷗大学教授。全国各地から得た生の情報をもとに、実証政治学を研究。ボランティア活動にもゼミ学生と共に積極的に関わり、「アシスト(ジャパン)の会」の事務局長を務めておられ、「現場」に常に足を運び、生の情報を収集・分析をされ、鋭い政治分析と歩く政治学者としてテレビやラジオに数多く出演されている。

2004年7月10日（土） 10：05～10：40

ディヴィジョンIV副会長に聞く

「ITCの今、そして未来」

泉 和子



公式訪問者として御出席の泉和子ディヴィジョンIV副会長に、公式訪問者としてではなく、ディヴィジョンIV副会長としての立場からのお話を伺います。

<プロフィール> ITC会員歴27年。阪神クラブ所属。クラブ、カウンスル会長を歴任の後、1999年には日本での初めての世界大会のアシスタントコーディネーターを務められ、2002年には、日本リージョン20周年年次大会のリージョン会長を務められた。その後日本リージョン事務局長に就任され、現在ディヴィジョンIV副会長を兼任。社会的には科学技術振興財団理事でもあり、「過去を振り返りはしても後ずさりはしない。他人に頼らず自分に厳しく、自分の進むべき道のもっと先を見据える習慣をつける」ことを信条とされ、生活にメリハリをつけ、頭の切り替えを楽しみながら、家庭・趣味・ITCにかかる時間が3分の1ずつになるように生活のリズムを作っておられる。

教育セッション一覧表

7月9日(金) 15:00~16:30

A	ワークショップ 話しことば	「あなたの日本語大丈夫？」 沢 昭子 (日本話しことば協会理事長)	あなたの「話しことば」は相手に正しく伝わっていますか？ あなたの「話しことば」は相手を傷つけていませんか？ あなたの「話しことば」は相手の心に響いているのでしょうか？ 話すことはコミュニケーションの原点です。 スピーチと共に「話しことば」を検定していただきましょう！
B	ワークショップ 朗 読	「木を植えた人」 榊原 忠美 (俳優)	一冊の本。椅子と燭台。そこにどんな人生が繰り広げられるのか？ 本はフランスの作家ジャン・ジオノの短編小説「木を植えた人」。 光と影。深く響く声が、息づかいが心に響く。 読み手と聞き手が一体となって作り出される世界をお楽しみください。 豊かな表現の秘密を探りましょう。
C	ワークショップ 礼 法	「ころとかたち ～小笠原流礼法をもとに～」 小笠原敬承斎 (小笠原流宗家)	小笠原流礼法は約700年前から受け継がれて参りました。礼法の基本は相手を思うところであり、そのころをかたちに表現する・・・それが作法です。したがって、作法にはすべて理由があります。礼法を、正式な時のみではなく、人間関係を円滑にする一つのツールとして日常生活全般にも活用していきましょう。訪問ともてなし、冠婚葬祭の心得など、現代生活に即した礼法をご紹介、ご説明いたします。
D	ワークショップ 議事法	グリーンソンを使って 議事法を学ぼう Part II 置塩 啓子 (イースト神戸クラブ)	昨年に引き続き、「ITCグリーンソン議事法ダイジェスト」をもとに、ワークショップ形式で補足動議を手掛りに、議事法の基本を学びましょう。クラブやカウンスルのプログラムの参考にどうぞ。
E	ワークショップ 短 歌	「言葉紡ぎ」 前野寿美子 (三田クラブ)	五・七・五・七・七のリズムにのせ、自分を表現し自分を発見しましょう。短歌は日常の中にあります。あなたの日常の一片を記念に残してみませんか。ことばを集め、ことばを選ぶうちに自分自身に出会います。ことば紡ぎ、ころ紡ぎを楽しみましょう。
F	ワークショップ エッセイ	「私の日本紹介」 菅 紀子 (奥村紀子、松山クラブ)	もしあなたが日本紹介をしてくださいと言われたら、何をどう語りますか？ 必ずしも著名人や歴史的出来事などにこだわることなく自らの記憶を語ってみましょう。夏目漱石と同時代、アメリカで「日本少年」という自伝的エッセイを著した異文化紹介の先駆者のように。 (英語クラブ会員歓迎)

Training Sessions

July 9 (Fri) 15:00—16:30

A	<p>Workshop</p> <p>Colloquial Expression</p>	<p>“Is your Japanese all right?”</p> <p>Akiko Sawa (Chairperson of Japanese Language Association)</p>	<p>Are your “spoken words” understood to the other well enough? Don’t your “spoken words” hurt the other? Do your “spoken words” get to the other’s heart? Speaking is the basics of communication. Here we can have our “spoken words” examined as well as speech.</p>
B	<p>Workshop</p> <p>Story Telling</p>	<p>“The Man Who Planted Trees” (<i>L’homme qui plantait des arbres</i>)</p> <p>Tadayoshi Sakakibara (Actor)</p>	<p>A book. A chair and a candlestick. What kind of life will be displayed there? The text is a short story by a French author Jean Giono, “The Man Who Planted Trees”. In light and shadow, the deep resonant voice and breathing will get to your heart. Enjoy the world where the reader and the listeners are integrated. Let’s explore the secret of rich expression.</p>
C	<p>Workshop</p> <p><i>Reihou</i> (The manners of the Ogasawara School)</p>	<p>“Artistic Behavior”</p> <p>Keishosai Ogasawara (Head of the Ogasawara School)</p>	<p>The manners of the <i>Ogasawara</i> School have been handed down for about 700 years. They are based on tender consideration for others, which is expressed into the form of manners. Therefore all manners have their own good ground. They should be applied not only to some formal situations but also generally to the daily life as a tool good for forming smooth human relationships. The manners useful in our modern life as tips for ceremonial functions, visiting, hospitality, etc., will be introduced and explained.</p>
D	<p>Workshop</p> <p>Parliamentary Procedure</p>	<p>Studying Parliamentary Procedure through Gleason’s Digest Part II</p> <p>Keiko Okishio (East Kobe Club)</p>	<p>Let’s study the basics of the parliamentary procedure with subsidiary motions, using “ITC Gleason’s Parliamentary Digest”! Very helpful to club and council program making.</p>
E	<p>Workshop</p> <p><i>Tanka</i> Poems (of Thirty-One Syllables)</p>	<p>“Word Weaving”</p> <p>Sumiko Maeno (Sanda Club)</p>	<p>Try to express and find yourself in the rhythm of 5-7-5-7-7 syllables. <i>Tanka</i> poems can be written in and on daily life. Why don’t you leave a memorial piece of your daily life? You will meet yourself as collecting and choosing your words. Enjoy weaving words, weaving hearts.</p>
F	<p>Workshop</p> <p>Essay</p>	<p>“Introduction of Japan by Myself”</p> <p>Noriko Kan (Noriko Okumura, Matsuyama Club)</p>	<p>If you are asked to introduce Japan as a representative of Japanese people, what do you want to tell and how? You don’t have to mention any famous persons, nor stick to any historical incidents. Write your own personal story like the book, “A Japanese Boy,” by the boy himself. Welcome English speaking club members!</p>

Let's Learn to Share

リーダー紹介



A 話しことば 沢 昭子（日本話しことば協会理事長）

東京都出身、東京学芸大学卒。

フリーのアナウンサーとしてアナウンス、話し方、コミュニケーション全般にわたって研修活動を精力的にこなしつつ環境問題、教育問題などのシンポジウムの司会、パネラー、コーディネーターとしても活躍中。

6年前に「日本話しことば協会」を設立。「話しことば検定」を実施。



B 朗読 榊原 忠美（俳優） 杉谷 直仁（照明）

名古屋を拠点とする「劇団クセック ACT」の俳優として劇団活動の傍ら、新たな表現方法を求め、ソロ活動もしている。照明の杉谷直仁氏と企画し1999年から始めた「木を植えた人」の朗読会は100回を超えている。



C 礼法

おがさわらけいしょうさい
小笠原敬承斎（小笠原流礼法宗家）

東京生まれ。前宗家・故小笠原忠統（小笠原惣領家第32世・平成8年没）の実姉である小笠原日英尼の真孫。聖心女子学院卒業後、副宗家を経て、平成8年小笠原流礼法宗家に就任。現代生活にあわせた礼法普及のため、各地で指導、講演をおこなっている。著書に「美しいふるまい」（淡交社）「親子でまなぶ子どもマナーブック」（淡交社）「まごころの贈り物」（文芸春秋）「美しいマナー心得」（PHPエル新書）など。



D 議事法

置塩 啓子（イースト神戸クラブ）

会員が正しい状況判断によって臨機応変に会則・常規の修正が出来る、親しめる議事法の教育に励んでいる。一方、表現の手段を問わず「言葉」を大切に、ITCの目的と基本ルールを遂行する存在感溢れるライフメンバーである。



E 短歌

前野寿美子（三田クラブ）

短歌を詠んで20年。藍野すみとして「兵庫歌人クラブ」での評価は高く、茶人の顔も持つ。趣味はピアノ。若山牧水の流れを汲む結社「長流」の運営顧問であり、10箇所での指導をなさるご夫君の心強い支え手でもある。兵庫県三田市で「世界短歌会」を主催。



F エッセイ

菅 紀子（奥村紀子、松山クラブ）

関西学院大学文学部卒後、愛媛大学法文学部にて日本近代文学専攻で修士課程修了。L.L.I.にて同時通訳を学ぶ。現在クラバムコモンカンパニーにて通訳翻訳、またアーツセラピー総合企画研究所にて芸術療法の普及啓発に努める。趣味は絵画、11月個展開催。『『日本少年』重見周吉の世界』（翻訳研究)、「第二の故郷」(共訳)出版。

教育セッション申し込み要領

- * 申し込み、変更、取り消し、問い合わせなど全てはクラブ会長の責任でお願い致します。
- * 今後教育セッションに関して連絡の必要があれば、会報第3号に掲載するか、Eメール連絡係を通じて、クラブ会長宛てにお知らせ致します。

申し込みについて

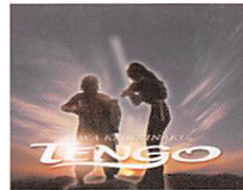
- * 大会2日目（7月9日）の教育セッションは6部門平行で実施します。
- * 第1希望、第2希望とその他の必要事項を19頁の緑色の申込券に記入し、クラブ会長に提出して下さい。
- * ゲストも大歓迎ですが、紹介者の氏名、カウンスル名、クラブ名、を必ずお書き下さい。
- * 会長は大会出席者名簿一覧表（私製）と緑色の券をまとめて郵送して下さい。ゲストも一番下にお書き下さい。
- * 教育セッションは希望人数により、第2希望となることもありますのであらかじめご了承下さい。
- * 締切りは5月15日です。

宛先：〒612-0058京都市伏見区桃山長岡越中南町8-6
リージョン第一副会長 大藪 京子

エンターテインメント・観光のご案内

◎ エンターテインメント

晩餐会のエンターテインメントに、ジプシーヴァイオリンとアコーディオンの情熱的なメロディを披露する女性ユニット「TENGO」の演奏を予定しています。パワフルで巧みな演奏テクニック、そして繊細なメロディ・メイクはきっと皆様を魅了することでしょう。



◎ 観 光

“大阪ええとこめぐり”

— 7月8日(木) —

歴史と文化によって育まれた大阪の観光スポットを短時間でご案内します。下記コースにお申込みください。申込み人数によりご希望に添えないこともございますがご了承ください。

交通事情により時間は多少変更がございます。集合時間、場所等は会報第3号でお知らせします。

Aコース

観(み)だおれ・くだおれ

¥6,000 (定員50名)



荘厳な景観の大阪城、超高層ビル群の大阪ビジネスパークのパノラマビューをホテルの12階レストランからお楽しみください。

歌手の倉木麻衣、愛内里菜が所属する普段は見学することができないレコーディングスタジオ訪問やジャズライブも観賞します。

ライトアップされた大阪の夜景を満喫!

宿泊ホテルまでお送りします。

16:30	リーガロイヤルホテル
↓	
17:00	スタジオ見学 ジャズライブ
↓	
18:30	KKRホテル 食事
↓	
20:00	リーガロイヤルホテル

Bコース

落語家と行くなにわ探検クルーズ

¥5,000 (定員45名)



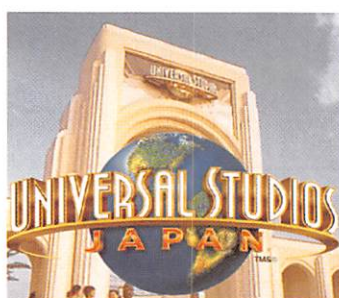
季節に彩られた中之島公園、豊かな水と緑が目前に広がる情緒を、落語家が洒落な話術で水路周辺の名所、歴史を面白おかしく案内します。川面を流れる涼風に吹かれながら‘水の都’大阪の今と昔を訪ねる49の橋巡りは陸から観賞する景観とは異なる新鮮な発見があることでしょう。お弁当を頂きながら関西のヴェネチアをお楽しみ頂きます。

18:00	国際会議場
↓	
	クルーズ 弁当
↓	
20:00	国際会議場

Cコース

ハリウッド映画の興奮に飛び込もう

¥5,000 (定員50名)



ハリウッドの有名映画やテレビ番組をテーマにした本物のハリウッド体験を提供してくれるテーマパークです。USJを短時間で一番人気の場所を紹介しながらご案内します。どのアトラクションもハリウッド映画の世界に入り込んだかのような興奮を体験していただけるでしょう。

12:00	リーガロイヤルホテル
↓	
	ユニバーサル スタジオジャパン
↓	
18:00	リーガロイヤルホテル



第22回 日本リージョン年次大会準備委員会名簿

2004年7月8日(木)・9日(金)・10日(土)

大会コーディネーター：坂口 正子 (大阪)
 コ・コーディネーター：中川 周子 (豊中)

委員会	委員長 (クラブ)	委員 (クラブ)
大会会計	遠藤美与子(堺 東)	森住美智子(徳 島)
登 録	椎名 真子(堺 東)	梶川 紀心(堺 東)
食 事	茶谷 滋子(大 阪)	鎌足 祥子(大 阪) 大谷 富子(大 阪) 田中 征子(堺 東) 平田 真弓(阿 波) 浦宗 成代(紀 州)
宿 泊	柴田 裕美(千 里)	井上 純子(千 里)
キ ッ ト	安橋 佳子(千 里)	王 久美子(大 阪) 松崎 智子(北大阪) 田中 絢子(豊 中) 伊藤 尚代(城 北) 堺 広子(梅 田) 宮武 和美(千 里) 大島 昭子(千 里) 谷間のり子(千 里) 四元 孝衣(千 里) 田中 佐和(帝塚山)
会場・備品	小田 和子(豊 中)	板東 登子(豊 中) 石田由美子(城 北) 筆本美智子(梅 田) 林 恵子(梅 田) 柴田三恵子(千 里) 森 淑子(徳 島) 川添真理子(阿 波)
デコレーション	石本美知子(大 阪)	門奈 具子(大 阪) 安藤 雅恵(豊 中) 林 美代子(豊 中) 中井 弘子(城 北) 望月智恵子(帝塚山) 角谷美智子(紀 州)
儀 典	榊本 町子(豊 中)	米田 聿子(北大阪) 吉田 和子(北大阪) 平井 典子(豊 中) 長谷川充子(堺 東) 横山 幸子(堺 東)
名札・リボン	織田美知子(北大阪)	本庄 扇宗(北大阪) 中村由紀子(北大阪) 山本 篤子(北大阪) 浅井久美子(千 里)
V I P 接 待	中馬知津子(大 阪)	久保千舟子(大 阪) 田中 香碩(南大阪) 依岡美津子(帝塚山)
ホスピタリティー	野村 悠美(千 里)	足立 和子(千 里) 粟津 敏子(千 里) 縄田美津枝(堺 東) 船井由美子(徳 島) 高橋 信子(阿 波) 畑田 典子(紀 州)
インフォメーション	十河 尚子(梅 田)	白樫 直美(梅 田) 太田黒淳子(千 里) 高畑富士子(徳 島)
ペ ー ジ	豊川三千代(城 北)	古久保ひかり(大 阪) 榊井 佑子(南大阪) 樋口 晴子(城 北) 久貝百合子(城 北) 辻 洋子(城 北) 瀧本 政子(梅 田) 土肥 敦子(千 里) 阪本 妙子(帝塚山) 森上 陽子(帝塚山) 宮田 候枝(徳 島) 伊能 洋子(阿 波) 中村 秀美(阿 波)
写 真	棚田 順子(南大阪)	藤本 和子(南大阪) 東口 光子(南大阪) 小泉 桂子(南大阪) 徳平 良子(南大阪)
広 報	中野 智美(豊 中)	増田 泰子(北大阪) 稲次 美子(堺 東)
観 光	段 紅子(大 阪)	富田 順子(大 阪) 木下美智子(豊 中) 今田富久恵(南大阪) 永井 路子(梅 田) 瀧本ゆかり(紀 州)
受 付	小八木利子(南大阪)	松本 敬(豊 中) 代田有祐美(南大阪) 福井 晴美(南大阪) 松田 照子(南大阪) 南塚 富子(南大阪) 青山真由美(梅 田) 鎮守 康栄(梅 田) 中尾知永子(堺 東) 西村 敦子(堺 東) 大仲 聰子(堺 東) 五藤喜久子(徳 島) 北畑 充香(紀 州) 永井由紀子(紀 州)
エンターテインメント	片岡 陽子(帝塚山)	浅井 麻里(堺 東) 則武 紀子(堺 東)

グリーンソズ議事法ダイジェストについて

日本リージョン議会法規役員 小林 令

「グリーンソズ議事法ダイジェスト日本語版」が日本リージョン事務局の資料品目に載せられて1年余となり、会員によって漸次利用され始めています。I.W.グリーンソズ女史によって刊行されたこの原本は、その序文にもありますようにロバート議事法に基づいた議事法マニュアルであり、議事法を学び議事規則に沿った会合を実際に運営するときのテキストとして編纂されております。

「議事法はわかりにくい」とは、現実に多くの会員から聞かれる言葉です。グリーンソズはそのような方々に「議事手順の正しい使い方を学び、実践したいという気持ちを喚起するように、平易に、簡潔に、しかも興味深く」を編集のモットーとして指導の実際から開発された学習のための手引き書であり、参考書です。

このテキストブックをどのように利用するかについては、それぞれのアイデアを駆使して有効に活用していただきたいと思いますが、例えば手始めに第2章は新しいクラブや新入会員のために利用されることをお奨めします。この章では「議題を会議に導入する—主要動議の提出の仕方と正しい処理の方法」がクイズ形式で順を追って判り易く記されています。各勉強グループは夫々に具体的なシナリオを作り、このクイズを各段階に当てはめながら実際に則して実行して見ると、会議に新しい議題を提出しその処理のための手順が体験的に理解されることでしょう。「主要動議を正しく扱うことが議事訓練の目的であり目標です」と著者も述べています。

更に、初歩段階は卒業と云うグループは、補足動議、優先動議、付帯動議を5章から7章で学ぶことで、主要動議の処理中にそれと関係のある、あるいは緊急性のある二次的議案を自由に使えるようになって議事法への興味は益々深くなることと思えますし、又クラブの役員を引き受け議長を務める場合には、3章「会合の進め方」や4章「表決の方法」が参考になることでしょう。

このグリーンソズは、冒頭にも書きましたようにロバート議事法に興味をもって理解するために判り易く書かれていますので、これらのクイズやドリルを習得している過程でもう一つ疑問が残ることもあるかもしれませんし、又もう一步先を識りたい欲求がでることもあるでしょう。その時は「ロバート議事規則」を開き、その項目の記述をじっくり読んでみてください。「ロバート議事規則」の堅苦しい文章を読んだだけでは理解できなかったことが、グリーンソズのQ&Aやドリルの実際と併せ読むことで成程と理解されることもありますし、グリーンソズのクイズだけではもう一つ判らなかつたこともロバートの記述でより深く理解されることもある筈です。

日本リージョンの会員の皆様がグリーンソズ議事法ダイジェストをフルに活用してロバート議事法の知識を楽しく身に付けてくださることを期待しております。

「議長は判断力を持たなければなりません。会議によっては、規則を厳格に押し通すことは、会議の進行を助けるどころか議事進行を大幅に妨げることもあるでしょう。しかし、多くの処理すべき事項がある大きな会議、特にめも事に陥りやすい場においては、唯一安全な方法は規則の厳格な遵守なのです。」

(H.M. ロバート)

何となく及び腰になってしまう議事法をより身近に、ということで、議事法についての頁を3回連載することに致しました。今回は『グリーンソズ議事法ダイジェスト』がどんなもので、どう活用すればよいかを、小林令議会法規役員にわかりやすく解説していただきました。例会において気軽に楽しく議事法に取り組んでみましょう。

ITC Plaza

役受けて 終わる頃には よい笑顔

稔子 (甲南)

鍛えられ 夫婦喧嘩は 負け知らず

美代子 (米子マンデー)

評価して 気になる人の 視線かな

澄子 (松江)

役受諾 いやよ いやよも 好きのうち

みつ子 (名古屋・指名委員)

今日もまた デパ地下惣菜 会合日

(舞子クラブ合作)

協力が 無ければただの でのぼう

真知 (宝塚)

長電話 笑う夫の タイム報告

多美子 (倉吉)

聞き方も 習って来いと 彼が言う

久美子 (鳥取)

ITC IT導入 Cが減り

節子 (宝塚)

ITC 亭主炊事の 腕を上げ

美都子 (三田)

— ITC川柳 —

一年目 ファックスだけは
うまくなり 淳子 (北摂)

How to fax is just my pride
in the first year in ITC.



ハイ (High) 受信
やっと送信
肩がこり

久美子 (境)

ハッピーな 出番の無い日 アンハッピー

繁子 (名古屋)

ITC 亭主を我慢の 子に育て

みつ子 (名古屋)

いつの日も 時代と共に 光る友

真貴子 (東京・横浜)

例会と うち (家) での顔に 段差あり

フク子 (舞子)

おしゃれな 言葉は今日の メンディシユ

孝子 (鴨川)

スピコンへ 少し濃ゆめの 紅を引き

正子 (出雲)

スピコンは 形からよと スーツ買う

常世 (鳥取)

り大会 老父あずけて はせ参じ

範子 (名城)

親切も 入会後には こき使い

(宝塚クラブ合作)

ノックする 老いを待たせて ITC

多美子 (倉吉)

- * 沢山の川柳投句をいただき、編集一同感激しております。ありがとうございました。誌面の都合上、全てを掲載することが出来なくて、本当に残念です。
- * 尚、締切り後の投句及びITCに関係の無い川柳は掲載を控えさせていただきます。ご了承ください。
- * クラブでの楽しい特別例会やお勧めの野外例会・場所などをお知らせください。

お詫びと訂正

会報 Vol.22, No.1 (October/2003) におきまして編集による手違いにより、

1. 5頁3行目 資格認証委員 白垣 駿一(正) とあるべきところ 白垣 俊一(誤)としてしまいました。
2. 30頁 [カウンスルNo.7 例会とクラブ例会案内] の記事におきまして、カウンスル会長名が 太田 由紀子(正) とあるべきところ 太田 由紀(誤)としてしまいました。

失礼をお詫びして訂正いたします。

物 故 者

心から御冥福をお祈りいたします。

カウンスルNo.3 関西クラブ 江 藤 万里子 様

ROSTER 変更

変更後の新役員及びクラブEメール係

カウンスルNo.3 議会法規役員	杉山満佐子 (関西クラブ)
カウンスルNo.2 三田クラブメール係	西田加代子 (会長) n-nishi@agate.plala.or.jp
カウンスルNo.6 奈良若草クラブメール係	森本 栄子 (会長)

各レベル役員住所、TEL・FAX、メールアドレスなどの変更・新規取得

カウンスルレベル

【カウンスル】	【クラブ】	【役 職】	【氏 名】	【変更後又は新規】
No. 8	サンデー	カウンスル会報委員長	白垣 駿一	shirags@ybb.ne.jp

クラブレベル

【カウンスル】	【クラブ】	【役 職】	【氏 名】	【変更後又は新規】
No. 1	浜 松	第一副・メール係	山田 洋子	ymd-o-y@gw 6.u-netsurf.ne.jp
”	千 種	会 長	奥村 啓子	hiroku@courante.plala.or.jp
No. 2	E. 神戸	会 計	井上 英子	TEL&FAX 072-729-2185
No. 3	関 西	会 計	岡田美智子	伊丹市昆陽東4-13-6-1
”	淡 路	第 一 副	井本 恵子	imoto-y@annet.ne.jp
No. 5	北 大 阪	第 一 副	本庄 扇宗	izumi-ho@m 4.kcn.ne.jp
”	”	D. C.	山本 篤子	baekm 300@jttk.zaq.ne.jp
”	千 里	議会法規	宮武 和美	FAX 06-6380-6747
”	帝 塚 山	第 一 副	森上 陽子	郵便番号 〒578-0974
”	徳 島	書 記	近藤 恭子	FAX 088-684-4518
”	阿 波	会 長	森本みどり	mmorimoto@mva.biglobe.ne.jp
”	紀 州	書 記	北畑 充香	〒641-0022 和歌山市和歌浦南2-7-9 コーポあしべ201号 TEL 073-412-0740 cfchx 603@jtw.zaq.ne.jp
No. 7	米子マンデー	D. C.	三保聖諭子	fnmiho@ybb.ne.jp

クラブ例会時間の変更

カウンスルNo.8 東京クラブ 11:30~14:30

☆今回編集よりの会員動向報告依頼に快くご連絡を戴きましたカウンスル会長に厚く御礼申し上げます。

ただ、残念乍ら、今期に入って後の入退会者数の膨大さによりその掲載を断念致しましたことをご報告致します。

従って掲載は役職上、リージョンに関わりのある方の変更のみとさせて頂きましたことをご了承下さい。

☆お手元のRosterを各自ご訂正いただきますようお願いいたします。

川柳投稿者一覧表

カウンスル	クラブ名	氏 名	カウンスル	クラブ名	氏 名
No. 1	名古屋	西村 みつ子	No. 4	岡山	繁森 明美
	〃	須地 繁子		〃	時光 育子
	名城	富田 範子		〃	武田 美代子
No. 2	甲南	瓜生原 稔子	No. 6	北 摂	岡本 淳子
	宝塚	奥澤 節子		鴨 川	金田 孝子
	〃	山崎 眞知	No. 7	鳥 取	松下 常世
	〃	会員 一同		〃	加藤 久美子
	三 田	則末 美都子		松 江	竹内 澄子
	愛 媛	白石 房子		倉 吉	黒田 多美子
No. 3	舞 子	小河 フク子	境	渡辺 久美子	
	〃	会員 一同	米子マンデー	高野 美代子	
No. 4	岡 山	黒住 祥重	出 雲	中島 正子	
	〃	村山 紀子	No. 8	東京・横浜	相川 真貴子
	〃	坂田 友子		挿絵(雀) 松本 敬	

- ☆ ITC Plaza に、多数の川柳をご応募戴き本当にありがとうございました。
- ☆ ここに感謝の意を表し、お寄せ戴きました皆様のお名前を掲載させていただきました。
- ☆ 次回 ITC Plaza では皆様のクラブでの楽しい特別例会やお勧めの野外例会・場所などをご紹介したいと企画しております。
- ☆ 皆様からのご報告、ご推薦をお待ちしておりますので、どうぞご協力の程、宜しく願いいたします。



編集後記：第2号の発行は楽に出来るとの予想に反して予想外の苦労を伴った編集となりましたが、川柳など楽しめる企画もあり、編集スタッフが楽しんでいる様子がお伝え出来れば嬉しいです。その上皆さんにも喜んでいただけると、年末年始の作業が報われます。尚、この場を借りて今期 船原育代様（非会員）のご好意により、会報表紙の絵を描いていただいていますことのお礼とご報告を申し上げます。4号までの変化もお楽しみください。

編 集 者：園田容子 スタッフ：堀 容子、松本 敬、鎮守康栄



2003—2004

ITC日本リージョン声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.

ITC Pledge

ITC宣誓

We, as member of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。